



東京女子医科大学学術リポジトリ
<https://twinkle.repo.nii.ac.jp>

テュートリアル課題 息切れがするのは?

著者名	東京女子医科大学
雑誌名	テュートリアル課題
巻	2011
号	B5
発行年	2011-04-01
URL	http://hdl.handle.net/10470/31185

2011年度 Block. 5

課 題 No. 1

課題名：息切れがするのは？

課題作成者：血液内科学

志関雅幸

シート1

長谷川順子さん（33歳）は銀行員です。就職以来ずっと銀行の窓口業務をしています。最近、息切れが気になります。通勤の時に使う駅の階段も途中で休まないと改札口まで登れません。これまでは健康で、これといった大きな病気やけがをしたことはありません。ここ1年は風邪すらひいたこともなく、薬も飲んでいません。

シート2

同僚に息切れのことを話すと、「そういえばこのところ顔色が悪いねと」言われました。気になって、仕事の帰りに近所の病院を受診しました。血液検査を受けたところ、医師から貧血がひどいのですぐに大学病院を受診するように言われました。また、白血球と血小板も少ないといわれました。

シート3

翌日、大学病院を受診した順子さんは、血液内科を受診しました。あらためて診察を受け、血液検査を受けました。血液検査のデータを示されて、すぐに入院するようと言われました。そして骨髄穿刺という検査を受けました。

血液検査データ；白血球数1700（杆状核球0%，分葉核球22.5%，好酸球1.5%，好塩基球0%，リンパ球72.5%，単球3.5%）赤血球数170万，ヘマトクリット値17.5%，ヘモグロビン値5.6g/dl，網状赤血球0.1%、血小板数1.3万、血清総ビリルビン0.9mg/dl，血清LD 165U/l（基準値119～229），血清鉄値145ug/dl（基準値55～180），血清フェリチン値225ng/ml（基準値15～180），血清ビタミンB12値560pg/ml（基準値180～914），葉酸5.8ng/ml（基準値3.1<），好中球アルカリフォスファターゼスコア215.3（基準値188.5～367.0）
骨髄所見；資料

シート4

入院後、特発性再生不良性貧血という病名を告げられました。なんでも骨髄で血液を造る細胞が著しく減ってしまう病気だそうです。明日、治療等について相談しようと思われ、担当の先生から御兄弟（姉妹）はいますかと聞かれましたが、順子さんは一人っ子です。再生不良性貧血なんて聞いたことがない病気だし、どんな治療なのかなあと思うと今晚は眠れないかもしれません。あしたは病気のことや治療のことなどいろいろと聞いてみようと思います。

シート5

先生との話が終わり、免疫抑制療法という治療を受けることになりました。また、HLA型を調べておこうといわれました。